

TAMC

会報

令和6年10月号

Bulletin of the Tokyo Amateur Magicians Club

October, 2024

主要内容（令和6年 9月）

- 第1例会 2024年9月5日(木) 18:00 ~ 19:50 リロの会議室 D 会議室
会員発表: 森田 晃 君 磯部 真一 君 大澤 泉 君
- 第2例会 2024年9月19日(木) 18:00 ~ 19:50 リロの会議室 D 会議室
会員発表: 濱谷 堅蔵 君 神辺 貴昭 君 村上 日出夫 君 磯部 真一 君
- 土曜研修 2024年9月14日(土) 13:30 ~ 16:30 (株)電巧社 2階 Mシアター
講師 柏木 直也 君 松岡 聡 君
- 秋の発表会リハーサル 2024年9月23日(月) 10:00 ~ 17:00 杉並区勤労福祉会館



<新善波トンネル土砂崩れ>

2024年11月の活動予定

- | | | |
|------|--------------------------|-----------------|
| 第1例会 | : 11月 7日(木) 18:00~19:50 | リロの会議室 D 会議室 |
| 第2例会 | : 11月 21日(木) 18:00~19:50 | リロの会議室 D 会議室 |
| 土曜研修 | : 11月 30日(土) 13:30~16:30 | (株)電巧社 2階 Mシアター |

令和6年(2024年)9月の例会活動記録

◆ 第1例会 9月5日(木) 18:00~19:50 リロの会議室 D 会議室
司会:高橋 哲夫君 記録:磯部 真一君 出席 23 名、ZOOM 出席者 4 名
<https://youtu.be/HXzXMJW8MUQ>

1. 交流の時間 … P.3
1) 大会「自由席券と指定席券」の配布 大会委員長 村上 日出夫君

2. 会員発表

- 1) 森田 晃 君 「第七回ソフト「記録映像(TAMC の歴史)」の紹介」 … P.3
- 2) 磯部 真一 君 「近況とカードマジック」 … P.9
- 3) 大澤 泉 君 「総務委員長からのお願いとマジック」 … P.11

3. 連絡報告事項

無し

◆ 第2例会 9月19日(木) 18:00~19:50 リロの会議室 D 会議室
司会:高橋 哲夫君 記録:磯部 真一君 出席 20 名、ZOOM 参加者 5 名
<https://youtu.be/wbCniGqq-FE>

1. 交流の時間

2. 会員による発表

- 1) 濱谷 堅蔵 君 「マジックのきっかけ～島田晴夫との出会いなど」 … P.14
- 2) 神辺 貴昭 君 「ティッシュペーパーを使用したマジックを中心に」 … P.17
- 3) 村上 日出夫 君 「マジック 5 選」 … P.19
- 4) 磯部 真一 君 「クローズアップマジック:輪ゴム、クリップなど」 … P.24

3. 連絡報告事項 … P.26

- 1) 10/27 秋の発表会後の打ち上げ懇親会について イベント委員長 守岡喜一
- 2) 9/23 発表会リハーサルについて 大会委員長 村上日出夫

◆ 土曜研修会 9月14日(土)13:30 ~16:30 … P.27

(株)電巧社 2階 Mシアター 出席者 16 名

- 1. 「ギルブレスの原理(Gilbreath Principle)」 講師:柏木 直也 君
- 2. 「マジック ア・ラ・カルト(Magic a la carte)」 講師:松岡 聡 君

◆ 秋の発表会リハーサル 9月23日(月) 9:00 ~ 17:00 … P.28

杉並区勤労福祉会館

交流の時間

◆秋の大会「自由席券と指定席券」の配布

大会委員長 村上 日出夫 君(第1例会)

村上大会委員長より、10月27日の発表会の入場券配布の案内がされた。

会員による発表

◆「第七回ソフト「記録映像(TAMCの歴史)」の紹介」

森田 晃 君(第1例会)

第8章 昭和・平成の演目の整理

前回までに秋の大会の82枚のDVDと、それを再編集した12枚のDVDを紹介して来たが、それらのDVDの中にある645の映像に関しては全然紹介して来なかった。ここからはTAMCの歴史を振り返る視点を持ちながら幾つか映像を紹介して行きたい。645の映像を4つの視点で整理して森田が選定した昭和、平成の名作57の紹介である。



(1)昭和の時代の名作の収集(資料35A)

昭和の名作と云われている演目のうち、演技者が創作者と違っていても、秋の大会のDVDの中に演技の映像がある演目をピックアップして、「昭和の創作マジック集」としてDVD化してある。(実物) 全部で23演目である。

(*)昭和の時代の名演目の追加(資料35B)

昭和53年以前の大会での演技のために映像がなく、前述の「昭和の創作マジック集」に集録しなかったが、他にも昭和の時代に評判の良かった演目は数多い。50年誌の座談会で話題となっている演目を拾い上げて、それらを「昭和の創作マジック集」と一緒に「TAMCの名作」として整理しておく。全部で27演目である。演者と演目だけは記憶しておきたい。

資料35A

TAMC創作マジック集DVD

TAMCの名作と云われている作品のうち、演者が作者と異なっても映像が残っているものを「創作マジック集」として編集してある。

()内は実際の演技者

1)阿部徳蔵

- ① 当世銀座風景(大原)
- ② 荷造箱変化鑑(梶田、池内)
- ③ 若狭の水(川崎、小永井)
- ④ 秋(川崎)

2)林 伯民

- ① 如意独楽(池田)
- ② カメレオンダイス(大森)
- ③ ビリヤードボール(小貝)
- ④ ホールインワン(松本)
- ⑤ フローティング・キャンドル(松本)

3)坂本 種芳

- ① 香炉と紐(本人)
- ② 椅子と少年(坂本圭史・芳彦)
- ③ 物品拡大術(あっちの僕:劇中)
- ④ 水飲み新聞紙(沢田)

5)柳沢 義胤

- ① 腹話術奇術(山崎邦)
- ② 浪曲手品(奥井)
- ③ 童謡手品(山脇他5人)

4)森田銚治郎

- ① ダンシングケーン(本人)
- ② アクロバティック・シルク(本人)
- ③ 落語手品(本人)

6)その他

- ① 胡蝶の舞(堀 武)
- ② 玉は生きている(中村 弘)
- ③ 魚心あれば水心(松本秀夫)
- ④ 廻る首(芦ヶ原伸之、阿部隆彦)

資料35B

昭和の時代の その他の名作

昭和53年以前の大会での演技のため映像がなく、上記の「昭和の創作マジック集」には取り上げてないが、これ以外にも評判の良かった演目は沢山ある。50年誌の座談会で話題となっている演目を拾い上げて、これらも名作として整理しておく。(資料35B) 映像がないのが本当に残念である。

- 霊交術(第3回:緒方知三郎)
- ミリオンダラー(第10回:朽本 充)
- 福助(第12回:柴田直光)
- タブレットを持つ女(第12回:山本 哲)
- 南極(第13回:上野景福)
- 美女とタイヤ(第15回:松岡正名)
- ウィリアム・テル(第16回:堀 武)
- ブリキンキン(第16回:池田正一)
- 手品料理教室(第18回:緒方知三郎)
- 6つの椅子(第22回:坂本種芳)
- 旅路(第23回:井上万寿蔵)
- 夜空のトランペット(第26回:森田銚治郎)
- ボトル協奏曲(第29回:堀 武:TVで放映)
- ちちんぷいぷい(第32回:坂本種芳)

- ドデカヘドロン(第8回:柴田直光)
- 本日は晴天なり(第10回:緒方知三郎)
- 6枚の白絹(第12回:伊藤真一)
- 檻の中(第12回:杉浦房次郎)
- 夕立(第15回:朽本 充)
- 霧と洋杯(第16回:安藤徳次郎)
- 天一のサムタイ(第16回:金沢義之助)
- 壺中仙(第18回:江 惟仁)
- ロケット月旅行(第22回:浅尾荘一郎)
- 月世界大砲飛入弾丸の術
(第23回:北村熊雄)
- 高速度成長術(第25回:寸劇)
- 題名のない奇術
(第27回:森田銚治郎)
- ライムライト(第31回:関 恵一)

(2)昭和の財産をヒントに平成に作られた演目(資料36)

平成の時代にも多くの名作が作られていて、それらの中には「昭和の名作」をヒントにしたものが多い。歴代の会長は異口同音にTAMCの歴史を尊重すると云うが、歴史を尊重するとはどういう事なのか。その具体的な行動は見えていない。もしかしたら、このような形で演目を作る事が歴史を尊重する行動なのではなかろうか。全部で10演目である。

資料36

昭和の名作を基に平成に作られた演目

- 1)森田 晃・小池正一郎 「アフリカからのお客様」(平成10年:秋)
緒方知三郎「霊交術」より:資料60
- 2)森田 晃・三好 勲 「ナイロビの壺」(平成12年:秋)
阿部 徳蔵「若狭の水」より
- 3)山本玄一 「ゆうべ見た夢」(平成15年:秋)
坂本 種芳「ちちんぷいぷい(胴体切断)」より:資料49
- 4)森田 晃・土屋理義 「奇術師とその弟子Ⅲ」(平成17年:秋)
阿部 徳蔵「荷造箱変化鑑」より
- 5)山崎 邦宣 「腹話術」(平成18年:春)
柳沢 義胤「腹話術奇術」より
- 6)土屋 理義 「創作落語・道具調べ」(平成18年:秋)
森田銈治郎「落語手品」より
- 7)内田 春樹 「浪曲奇術1010」(平成22年:秋)
柳沢 義胤「浪曲手品」より
- 8)森田 晃 「仲良くなろうよ」(平成24年:秋)
森田銈治郎「アクロバティック・シルク」より
- 9)森田 晃 「朝日のように爽やかに」(平成26年:秋)
森田銈治郎[夜空のトランペット] より:資料58
- 10)森田 晃 「近頃渋谷風景」(平成30年:春)
阿部徳蔵「近頃銀座風景」より

(3)平成に作られた多くの演目の特徴(資料37A)

平成の時代に作られた多くの演目の特徴は「シリーズ式の演目」である事である。同じ演者が同じコンセプトのマジックを数年に亘って繰り返し発表しているのである。このような現象は昭和の時代にはあまり見られない。平成のシリーズ演目を紹介して、その内の代表的な演目を1件ずつ紹介する。(資料37B) 全部で11演目である。

資料37A

平成に作られたシリーズ演目の代表作品

- 1)多湖 輝 子供たちのダンスとのコラボ・シリーズ
第58回、第59回、第60回、第61回、第62回、第63回
- 2)都築 幹彦 舞踊マジック・シリーズ
第58回、第59回、第60回、第61回、第62回
- 3)持永 恒美 マジック童話・シリーズ
第48回、第50回、第52回、第53回、第54回、第56回、
- 4)持永 恒美 新入会員との団体マジック・シリーズ
第55回、第59回、第60回、第61回、第62回、
- 5)白鳥 勝彦 イリュージョン・シリーズ
第63回、第64回、第65回、第66回、第67回、
- 6)劇団TAMaC マジック劇・シリーズ
第58回、第59回、第60回、第61回、第62回、第63回、
第64回、第65回、第66回、第67回、第68回、
- 7)森田 晃 アンマン・ヨンコン・シリーズ
第53回、第55回、第57回、第59回、第61回、第63回、第65回、第68回、
- 8)森田晃・土屋理義 奇術師とその弟子・シリーズ
第54回、第58回、第60回、第62回、第64回
- 9)土屋 理義 新作落語手品・シリーズ
第59回、第61回、第63回、
- 10)三好 勉 他 トリオ デ マジック・シリーズ
第59回、第60回、第61回、第62回、第63回、第64回、
第65回、第66回、第67回、第68回、第69回、第70回、
第71回、第72回、第73回、第74回、第75回
- 11)村上日出夫 創作マジック・シリーズ
第62回、第63回、第64回、第65回、第66回、第67回、
第70回、第71回、第72回、

シリーズ演目の代表作

1)持永 恒美 マジック童話・シリーズ代表作:	第54回「かくれんぼ」
2)森田 晃 アンマン・ヨンコン・シリーズ代表作:	第55回「ナイロビの壺」
3)持永 恒美 新入会員との団体マジック・シリーズ代表作:	第59回「カラフルショー」
4)都築 幹彦 舞踊マジック・シリーズ代表作:	第60回「秋のソナタ」
5)森田晃・土屋理義 奇術師とその弟子・シリーズ代表作:	第60回「荷造箱変化鑑」
6)多湖 輝 子供たちのダンスとのコラボ・シリーズ代表作:	第61回「魔女の贈り物」
7)劇団TAMaC マジック劇・シリーズ代表作:	第61回「わらしべ長者」
8)白鳥 勝彦 イリュージョン・シリーズ代表作:	第69回「夢の中から VIII」
9)土屋 理義 新作落語手品・シリーズ代表作:	第61回「道具屋」
10)三好 勉 他 トリオ デ マジック・シリーズ代表作:	第61回「リンクング大リング」
11)村上日出夫 創作マジック・シリーズ代表作:	第62回「シルクの舞」

(4)その他の平成の名演目(資料38)

「シリーズ式の演目」以外にもある平成の時代の名作を森田が選定した。全部で13件である。

資料38

平成に作られた その他の名作

1)「美しき幻覚」	(平成13年:第56回大会) 演者:多湖 輝
2)「ピラミッドイリュージョン」	(平成13年:第56回大会) 演者:升田 晋造
3)「百花繚乱」	(平成15年:第58回大会) 演者:升田 晋造
4)「私がナンバーワン」	(平成15年:第58回大会) 演者:井口 清・小貝 一夫
5)「4枚のエース」	(平成18年:第61回大会) 演者:多々良一寿
6)「奇術師とその弟子IV(アクア)」	(平成18年:第62回大会) 演者:土屋 理義、森田 晃
7)「楽しいクッキング」	(平成19年:第63回大会) 演者:松本・梶田・池内
8)「空手の世界」	(平成21年:第64回大会) 演者:尾崎 教弘・蔵原 克治
9)「奇術師とその弟子IV(パンダ)」	(平成21年:第64回大会) 演者:森田・梶田・秋山
10)「おもちゃの部屋」	(平成23年:第66回大会) 演者:森田 晃
11)「東方魔鬼」	(平成26年:第69回大会) 演者:升田 晋造
12)「踊るハンカチ」	(平成30年:第72回大会) 演者:高橋 雅洋
13)「アストロボール」	(平成30年:第72回大会) 演者:氏原 秀記

以上が森田が保有する秋の大会の82枚のDVDにある映像645演目のうちから、会員に是非見て貰いたい57の演目を森田の視点で選んで、昭和・平成の名作としてDVDにしてあるものである。この57の演目は創立80周年の年以前の大会で大半が発表されているので、創立80周年以降に入会した約30名(全体の半数)の会員が57件を見ていないことになる。なおDVDの希望者には1枚500円で提供する。

今日は十分に時間を貰ったので、(1)の「昭和の創作マジック集」の中から以下の5演目を映像で紹介する。

1) 当世銀座風景

第2代会長の阿部徳蔵氏によって創案されたマジックで幾つかのシルクマジックをルーチンにまとめたもの。最近のシルクマジックと比べるとそれほど華やかさはないが、1枚のシルクが千変万化する様が如何にも当時の銀座の点滅するネオンを思わせるところから阿部氏が題名を付け、昭和10年に金沢義之介氏によって初めて演じられたときには観客から感嘆の拍手を浴びたと云われている。昭和23年には金沢義之介氏によって「春宵落花」と云う題で天覧の栄に浴し、TAMCの大会でも何度となく演じられて、奇術研究第3号にも詳しく手順が解説された。阿部氏の映像は残っていないので本編では第44回大会での大原希是氏の演技を収録。

2) 香炉と紐

第5代会長の坂本種芳氏がインドの伝説的な縄の奇術にヒントを得て考案したもので、巻尺の原理を応用している。初演は昭和9年の第2回大会で題名は「不思議な紐」。これを同氏が米国の世界的な奇術専門誌「スフィンクス誌」に投稿したところ、昭和13年に当時は敵対関係にあった米国からスフィンクス賞を受賞している。本編は83才だった坂本氏本人が昭和57年の第37回大会で再演したものを収録。

3). 如意独楽

林伯民氏が昭和29年に創作した日本調のマジックで、昭和30年に創作者自らが天覧に浴し、昭和33年に帰国した石田天海氏から大絶賛を受けて、昭和43年には第1回の天海賞を受賞している。そして昭和49年には林氏から直伝を受けた池田正一氏もこの演技で天覧に浴している。本編には その池田正一氏の平成元年 第44回大会での再演を収録。

4). ダンシングケーン

現在では多くのプロやアマが行うマジックだが昭和33年頃には日本で演じる人はなく、森田銈治郎氏が海外のプロの演技を8mm映画で見て独自に創作して、昭和34年の第14回大会に本邦で初めて「杖は踊る」と云う題で発表したもの。本編は森田氏が第37回の大会で再演したときのものを収録。

5) 魚心あれば水心

身体から金魚の入った鉢を現すマジックは以前からあったが、松本秀夫氏が構想から完成まで10年の月日をかけて独自の方法でとりまとめたマジックで、昭和34年の第14大会で金魚の鉢4杯を現して見せた。昭和36年には更に改良を加えて、金魚鉢3杯で昭和天皇御還暦の席で天覧に浴している。最後に丸いテーブルの上に出現する大鉢は坂本種芳氏の創作である。

本編には第37回大会での松本氏本人の天覧のときと同じ演技を収録。

今後 時間を貰えれば、(1)の残り、(2)(3)(4)(5)の映像も順次 紹介したいと思っている。

以 上

◆「久しぶりのカードマジック」

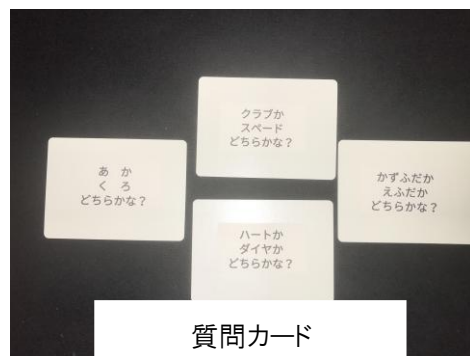
磯部 真一 君(第1例会)

今まで「我が家の死蔵ネタ」をテーマに発表させていただきましたが、久しぶりに「本業(?)」のカードマジックを幾つか披露させていただきました。当日は諸事情により準備不足で不甲斐ない結果になりましたことをご容赦ください。

1. 「Si Stebbins システムを使ったカード当て」

現象:

お客にデッキから一枚選んでもらい、裏側のままテーブルの上に置き、「カードに聞く。」と言い、いくつかの質問をしながら、カードをめくり、3枚のカードから選ばれたカードの「色」「スーツ」「数札・絵札」を当てる。



準備:

「Si Stebbins システム」のデッキ一組、質問カード 4 枚

解説:

「Si Stebbins」システムで組んだデッキは赤黒が交互に配置されているので、選ばれたカードから「2 枚目は必ず同色:条件 1」になる。また、「ダイヤ、クラブ、ハート、スペード」の順に配置されているので、選ばれたカードから「4 枚目は必ず同スーツ:条件 2」になる。更に数字についても各スーツ同順で配置されているので、選ばれたカードから「13 枚目は必ず同じ数字(絵札含む):条件 3」になる。上記 3 つの条件をそれぞれ満たす「X 枚目」を確認することで「選ばれたカード」を特定できる。

演技では、「質問カード」を使ってその確認を行っている。

●条件 1:2 枚目毎が同色ということは「(2の倍数)目」を確認すればいいので、「あか くら どちらかな?」(10文字※1)で「?」のカードを確認する。その色が「選ばれたカード」の色となる。

※1)10は2の倍数

●条件 2:4 枚目毎に「同スーツ」ということは「(4の倍数)目」を確認すればいいのだが、条件 1 で「赤」「黒」のケースで質問が変わる。

・条件 1 で赤:「ダイヤかハートかどちらかな?」(14文字※2)

・条件 1 で黒:「クラブかスペードどちらかな?」(14文字※2)

条件 1 と同様「?」のカードを確認する。そのスーツが「選ばれたカード」のスーツとなる。

※2)14と条件 1 での 10 を足すと 24 となり(4の倍数)になる。

●条件 3:2:13 枚目毎に「同数字」ということは「(13の倍数)目」を確認すればいい。

「かずふだかえふだかどちらかな?」(15文字※3)先述の条件と同様に「?」のカードを確認する。その数字(絵札含む)が「選ばれたカード」の数字となる。

※3)15と前述までの条件での 24 に 15 を足すと 39 となり 13 の倍数になる。

2. 「Dr.デイリーのラスト・トリック」

4 枚のエースを使った有名なパケットトリックです。

現象：

観客に配ったカードと演者のカードが入れ替わる。

解説：

「ダブルリフト」、「エルムズレイカウント」を駆使して行うもので、同技法の練習に最適と思います。

「超絶技法」でもないのに、観客と会話を楽しみながら行える良いマジックと思います。

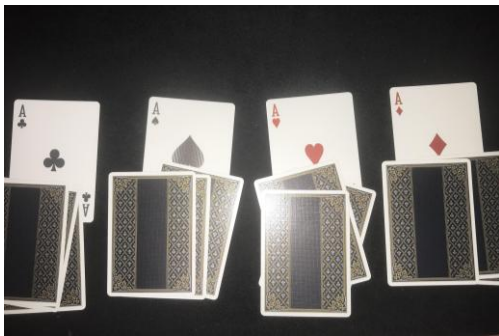
3. 「まぜまぜフォアエース」 by 藤原邦恭

現象：

4 枚のエースにそれぞれ 3 枚のカードを配り、それぞれシャッフルして混ぜ合わせると、最終的には 4 枚のエースだけ表になる。

解説：

セルフワーキングで出来て現象も不思議。なパケットトリックです。



4. 「トライアンプ」

現象：

裏表を混ぜたデッキから選んでもらった 1 枚を裏にして戻した後、お呪いをかけるとそのカードだけ表になる。

解説：

ダブルバックが半分のデッキを用いて、表側の部分から選んだ一枚を裏にして戻し、デッキを広げるとその一枚だけが裏側になる。



5. 「Pen Prediction」

現象：

デッキを2つの山に分け観客にどちらかを「ペン」で選んでもらう。この動作を最後の1枚になるまで行う。その最後のカードが山の選択に使用した「ペン」の中に格納されている。



解説：

スベンガリデッキを用いることで実現している。2つに分けた山を最初の選択で「捨てる」か「残す」を決めて、以降の選択は最初と同じにする。都度、「捨てる」「残す」を変えると統一性が無く観客に疑われる可能性が大きくなるのでどちらかに統一することが重要。

以上

◆「総務委員長からのお願いと数理マジック」

大澤 泉 君(第1例会)

1. 例会発表についてのお願い

今年の例会発表は2月第2例会以来、2回目となります。今年から総務委員長を引き受けていますが、1番大変な仕事は、例会の運営その為の会員発表者の決定です。

今年1～10月までの例会発表の状況はこの表の通りとなっております。(2024年例会)

会員発表者の決定の仕事は、副委員長の高橋(哲)さん、柏木さん、そして私の3人で4ヵ月／1人を担当しています。

現時点での会員数は66名ですが、例会にほとんど顔を出さない人も結構おります。誕生月での会員発表を原則お願いしておりますが、これでは明らかに足りません。10月までの発表者は42名となっております。ちなみに9月10月は柏木さんの担当月ですが、この月は誕生月の人も少ない上にまったく例会に出席されていない人も数名おり、苦勞している次第です。そうすると、どうしても快くやって頂ける特定のメンバーの方に何回かお願いする事になってしまいます。

この表の黄色で色付けした方は今年2回以上発表された方で、名前の横に例会発表回数を入れてあります。1番多いのは磯部さんで9回、次に森田さんで7回となっております。例会場に来るのが大変な方、地方会員の方も、Zoomでの発表でも結構ですので、是非積極的な参加をお願いします。来年からは1人年2回の発表を考えております。例えば1月誕生日の方は1月7月、12月誕生日の方は6月12月を目途に発表をお願いしたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

(例会参加者の皆さんには賛成してもらえました)

2024年	第一例会				第二例会			
1月	—	—	—	—	田澤①	出水	倉持	柳川
2月	森田①	高橋哲①	中村紀①	早川	守岡	古賀	山崎孝	大澤①
3月	森田②	高橋哲②	神辺①	磯部①	高橋忠	濱谷①	山口①	磯部②
4月	森田③	井上由	田澤②	磯部③	松岡尚	田中	犬竹	磯部④
5月	森田④	近藤	高橋雅	池内	家族会リハーサル			升田
6月	家族会反省会		土屋	矢澤	森田⑤	大友	松本	磯部⑤
7月	栗田	柏木①	平山	松岡聡	牧原	マジシャンMagura(マグラ)氏		
8月	山崎邦	森田⑥	八田	井上憲	長田	柏木②	梶田	氣賀
9月	森田⑦		磯部⑥	大澤②	濱谷②	神辺②	村上	磯部⑦
10月	田澤③	柏木③	中村紀②	磯部⑧	古田	山口②	大澤③	磯部⑧

例会会員発表状況(2024年10月まで)

2. 電卓を使った数理マジック

8月第1例会で井上憲一さんが何もマジックの用意をしていない時のマジックを披露しましたが、私も同じ状況でできるマジックをやりたいと思います。今日は、電卓を使った数理マジックをやりたいと思います。予め電卓を用意してなくても、今は皆さんスマホを持っているので、スマホのアプリを使ってどこでもできると思います。

【好きな数字のオンパレード】

演者は「人には、それぞれ好きな数字があるそうですね。その好きな数字が並んだ数に出会ったら、特に良い事がありそうですね。」と言う。

「数の話の中で、12345679という数は、ちょっと面白い性格を持っています。

8が抜けているって？

だから数の”はなし”と言ったんです。

間違っただけではありません。ところで、この数字を使う前にあなたの好きな数字を1つ教えてください。」

客が例えば、「6が好きです。」と言ったとする。

演者は、「さっきの12345679を電卓に入力しましょう。そしてこの数字に54を掛けてください。」

「あれ！66666666だ！」

好きな数字がずらっと並んだわけである。

※ $12345679 \times 9 = 111111111$ である事を利用したマジックである。

【ひみつの数当てマジック】

演者は、

「魔法を仕掛けるので、少しお待ちください」と言いながら電卓に「12345679」と打ち込む。

「×」を押した後に、「1から9までの中から、好きな数字を押して、その後に＝を押してください」と、声を掛けて電卓を渡す。客が数字を打ち込んだら、電卓を返してもらう。



そして「あなたが選んだ数字を解読するための魔法を、もう一度施します」

と言いながら、「 $\times 9 =$ 」を押す。

表示された数字を確認後、客に電卓を示しながら、「あなたの選んだ数は〇ですね」と「ひみつの数」を当てる。

※ $12345679 \times 9 = 111111111$ である事を利用したマジックである。

【1のオンパレード】

演者は客に言う。「電卓を使ってゲームをやってみましょう。〇〇〇 \times 〇〇〇〇で答えに1を多く出した人が勝ちというゲームです。」1～2分制限時間を決めてやってみるが、1の数はせいぜい1～4個である。

「それでは私がやってみましょう。」と言い、3桁 \times 4桁の数字を打ち込むと、答えは1が7個並んでいる。

「兄さん、急だ、よろしく」という言葉を覚えておく。その語呂合わせの通り、

$239 \times 4649 = 1,111,111$ となる。1が7個続く積になる3桁 \times 4桁の掛け算はこれ一つしかない。

ところで、これと同じようなものとして4桁 \times 4桁で、「なみなみといこうな」という語呂合わせで読める酒の席向きのものもある。

これは、 $7373 \times 1507 = 11,111,111$ となる。

【末位が5の数の2乗】

演者は客に言う。

「1桁目(一の位)が5の数は、2乗するのに早い計算法がありますが、知っていますか？」

「じゃあ、やってみましょう。」

「何か一の位が5の2桁の数を教えてください。」例えば「75」の場合

「5625ですね。」あまりにも早いので客は驚く。

※末位以外の数に1を加えた数を掛けて、その答えに25を添えれば良い。

この例では、7に1を加えた8を掛けて、56とし、それに25を付け加える。

以上

◆「マジックのきっかけ～島田晴夫との出会いなど」

濱谷 堅蔵 君(第2例会)

会員発表 <https://youtu.be/wbCniGgg-FE>

私の誕生日は S20.9.22 (1945年)ですので、9月第2例会で会員発表をさせていただきますが、生い立ちから今日までのマジックとの関わり合いについてお話しします。

今月の22日で79歳、いよいよ70代最後の歳となりましたが、妻をはじめ子供たちや孫たちの温かい理解ある愛に支えられながら、これまで好きなことを存分にやってきましたので、心身ともに健全で、至って健康です。

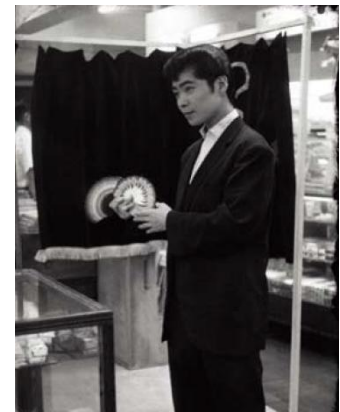
富山市で生まれ、5歳の時、父の仕事の関係(転勤)で、東京へ移住し、今日まで現在の、目黒区碑文谷に住んでいます。

手品との巡り合いですが、10歳の時に少年雑誌の付録についてきた「手品」にはまり、それ以降、手品少年になり、覚えた手品を子供会や誕生日会で友達に披露し、人気者になっていました。

その後11歳の時に渋谷東横デパートの手品売り場で運命の人と巡り会うことになったわけです。その売り場の



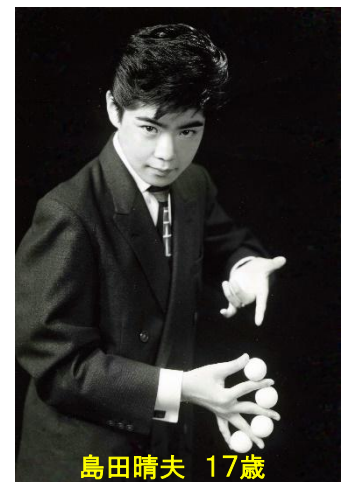
お兄さん(その人が誰だかは、まだ知る由もない)が見せてくれた赤いボールが増えたり無くなったりする「四つ玉」にすっかり魅了され、そこで初めて買った手品が「シカゴの四つ玉」でした。その後、売り場のお兄さんは別の人(天洋の田村嘉延さん)に替わり、その方から色々な手品を見せてもらい、3年くらいお世話になりました。13歳の時に NET テレビ雪印マジックショー(毎回、石田天海さんがマジックを披露)に出演したのも、古き良き思い出です。



島田晴夫 16歳

それから2ヶ月後の日本橋三越劇場「第3回アマチュア奇術大会」が初舞台となり、披露した演目はタンバリンでした。

この大会の第3部(プロの部)で島田晴夫氏の初舞台を目撃。島田さんは8ツ玉のアクで衝撃的なデビューを果たすわけですが、その時初めて「あの東横デパートの手品売り場のお兄さん」が島田晴夫氏だと知ったわけです。



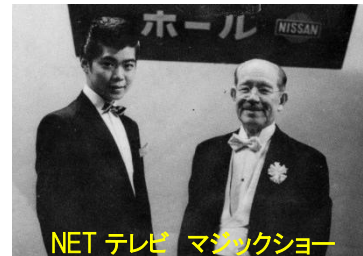
島田晴夫 17歳

天洋の田村嘉延さんに頼み、楽屋で島田晴夫さんを紹介してもらい、一言二言話すも、8ツ玉の鮮烈な印象が残っており、興奮して会話になっていなかった記憶があります。

それ以来、島田晴夫さんに憧れ、島田さんのような四つ玉を演って見たくなり、天洋や力書房から発刊されていた「四つ玉」に関する書籍を参考にしながら独学で手順を作り、練習を重ね、翌年の三越劇場アマチュア奇術大会に無謀にも、「8ツ玉」で出演しました。テクニックを教えてくれる人もいなかった時代ですが、ひたすら練習し、島田晴夫師のルーティーンを参考にしながら、36ヶのボールを操る手順を作り、三越劇場のステージに臨みました。三越の天洋大会には高校2年まで3年連続で出演し、4つ玉、8つ玉、ミリオンカードを演じ、高1～2年の天洋大会ではコンテストで2年連続「うまいで賞」を受賞。副賞に「中華蒸籠」や「ブラックアート」をもらったのも懐かしい思い出です。



島田晴夫 16歳



NET テレビ マジックショー
島田晴夫と石田天海

大学(武蔵工大)に進んでからはマジックサークルを作り、奇術好きなマジック仲間と楽しい学生生活を送り、大学1～2年にかけて JMA 日本奇術連盟や新橋ベーカリー主催の全国奇術大会ではスライハンドマジックで総合優秀賞を授賞するなど、コンテストにチャレンジしまくりました。当時プロで活躍していた島田晴夫師や引田天功師、ダーク大和師、松旭斎天曉師、渚晴彦師、北海マキ(北見マキ)師、八田加寿雄師など一流マジシャンやテレビ関係の業界人との交流を深め、人脈を広げていたのもこの時代でした。



1961年、映画「ヨーロッパの夜」で演じたチャニング・ポロックの鳩出しがブームとなり、シルクから鳩を出すというブームが来ましたが、その頃、私はシルクを使わない「ベアハンドの鳩出し」を研究

はじめ、試験的に1963年の高校文化祭で披露しました。その後、ギミックの改良と演出を工夫し、大学1年の文化祭ステージ(1964年5月と11月)で披露しています。お忍びで松尾昭氏(Mrマリック)、元林一郎氏(ふしぎ良)、山本勇次氏(UGM)の3人がわざわざ名古屋から私のベアハンド鳩出しの演技を見に上京したという話を、後年UGM山本勇次さんや名古屋のパピヨン大西さんから伺いました。

1965年(大学2年)の5月、JMA 日本奇術連盟の長谷川治子会長の推薦でフジテレビの新番組「しろうと寄席」に二本木光史君とコンビを組み挑戦し、第一回名人位を獲得したことは既知のとおりです。



トクホンしろうと寄席参考動画

⇒ [1966 5 フジ TV しろうと寄席 真打挑戦!](#) をクリックしてください



そして(大学2年)の夏、天洋の加藤英夫先輩の仲介で私が開発した「ベアハンド鳩出し」のギミックを島田晴夫師に提供し、新しいアクトを3人で研究開発し、考え付いたアイデアを島田さんがナイトクラブやショーでライしながら、アクトのバリエーションを模索していました。

⇒ [1965年、島田晴夫のベアハンド鳩出し極秘練習](#) をクリックしてご覧ください



1968年、社会人になって間もなく、島田晴夫さんや八田加寿雄さんが日本から離れ、活動拠点を海外に移したこともあり、マジックの世界とは疎遠となりましたが、1994年の FISM 横浜大会で島田晴夫さんと奇跡的な再開を果たし、再びマジック業界に戻ってきて 今日まで 30年になります。

現在では TAMC の良き仲間たちとマジックを楽しんでいます。

⇒島田晴夫さんとキーリー夫人、
小川和夫(元 TAMC 会員)さん

◆「ティッシュペーパーを使用したマジックを中心に」

1. 「ティッシュペーパーの復活」

掌の中にティッシュペーパーを入れて少し丸めた状態にします。その細くなった端をもぎ取り捨てます。しかし広げると、破れているはずのティッシュが破けていません。

(コメント)

あらかじめこぶしのなかに、「こより」のようなペーパーを持っているのですが、この「こより」のようなものをマジックさんは再びつなげるようにして復活をしています。この方法だと「こより」を処理しなければならないのですがそれは好き好き。

今回、じつは私の場合少し破れていました。いつもだとクリネックスを使うのですがこの日にうっかりエリエールを持ってきてしまいこれは弱いので簡単に破れてしまうようです。



2. 「1粒のチョコからたくさんのチョコが出現」

こぶしを作りその上にティッシュペーパーで覆い、その真ん中に1粒のマーブルチョコレートを置きます。それを押し込んでゆくとこぶしの下からたくさんのマーブルチョコレートが出現します。

(コメント)

これを子供マジック教室でやったら大うけでした。実際にみなさんでやってもらったあと、「もう食べていい?」と質問されてこちらが笑ってしまいました。

3. 「ティッシュペーパーのカード貫通」

一枚のカードにティッシュペーパーが貫通します。

(コメント)

ポーカーサイズでバイシクルのカードでやるのが一番ですがたくさんの方にご覧いただくために少し大きめのカードにしましたのでバイシクルではありませんのでカードの真ん中にティッシュを入れざる得ませんでした。ずいぶん前にシックカードというのを知ったときに2枚重ねということでしたがもう少しスマートにできないものかと絵札の絵の部分だけ切り取り貼りつけて作ったのを思い出して今回絵札の絵の部分だけ切り取りフラップにしてみました。(シックカードは改良を重ねて現在ではかなりよくなってきています。カーディシャンではないので最新は知りませんが)



4. 「紙コップでのティッシュペーパーボウルの移動」

3個の紙コップの中の真ん中にティッシュペーパーを丸めたものを入れます。両端の紙コップは空です。おまじないをかけると端のコップに玉が移動します。ふたたびおまじないをかけると真ん中のコップに戻ります。さらに今度は反対の端のコップに紙玉は移動します。おまじないをかけると真ん中のコップに戻ります。

そしてさらにおまじないをかけるとすべてのコップから紙玉が出現します。

(コメント)

私の演技終了後、種を教えてくれと言われて解説しましたが、それを知りある人がスポンジボールで使えそう、と言っていました。そのとおりで私は実はこの種のマジックを外国人の人がスポンジボールで演じていたのを観たことがあります。今回、ティッシュペーパーという流れでしたので紙玉にしました。

このマジックはテンポよくやるのがコツだと思います。

5.「沢浩さんの山羊」

ティッシュペーパーを長く丸めて2本作ります。右手の人差し指と中指の間、薬指と小指の間にそれぞれはさみ手の形は影絵で狐をつくるようにします。

「何に見えます？山羊です。」

と言って左手でティッシュペーパーを丸めた紙玉を左手の山羊に食べさせます。右手の山羊はもぐもぐと食べて指を広げると紙玉はありません。

同じことをもう一度します。

山羊はもっと食べたい、質のいいものを食べたいといいます。そこで演者は紙幣を出して丸めて食べさせます。さすがに紙質がいいのなかなか租借できません。そのうち「あーっ」と言って山羊はぼろぼろとコインを出して逃げてしまいました。

沢さん曰くそのコインは山羊のフンなのだそうです。

(コメント)

私はこれはもう10年以上前に確か信濃町にまだいた林秀彦・富士真奈美夫妻の家で沢さんが上京したときに見せられたように記憶しています。種明かしもしませんでしたのでこんな感じでやっていたのかなあ、とおぼろげな記憶でやりました。正確なことをご存知の方には教えていただきたいです。沢さんの紙幣はドル札でコインはハーフダラーでした。

<あなたの好きなマジシャンはだあれ？>

マジックの用具が山のようにになっているのですが、その中から出てきたのがA3の大きさのマジシャンが描かれた一枚の紙でした。

頂いたものですが誰が描いたのかわからず例会で博識のみなさんにお尋ねしました。一応参加された会員の皆様にはコピーですが配布しました。もうお亡くなりになっているマジシャンも含まれますのでぜひごん前のものと思われま。

12人のマジシャンのうち好きな人を心に思い浮かべそれを当てるというのに使用したようです。

*おまけ

3枚の正方形の板チョコがあります。大中小で大1枚と中小併せた2枚とではどちらがチョコレートの重さがあるでしょう？

ふつうは手で持って調べます。

ここではピタゴラスの定理を用いるとすぐにわかるという話をしました。



もう一つおまけ

「3角形に2本の線分を加えて5角形にしてください」という問題。

解答)三角形という文字を書き、三に2本足して五にする。

これをしたら「ばかばかしい」と怒られました。ばかにするな。真剣に考えていたのに、と。

私は一度も図形で、とは言いませんでした。実は直前にピタゴラスの定理を紹介して図案頭にみなさんを誘導していたのです。

年に1、2回私には例会で発表する機会を与えられます。本来ならばマジック研究の成果を発表しなければならないのでしょう。そこまで私はうまくないのでこの程度でお許しいただきたいです。よく知られている手品らしいので、種明かしをしませんでした。

個人的にお知りになりたい方にはお教えいたします。

以上

◆「マジック5選」

村上 日出夫 君(第2例会)

1. グラスの中のシルク消失

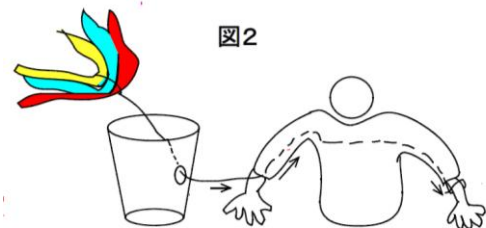
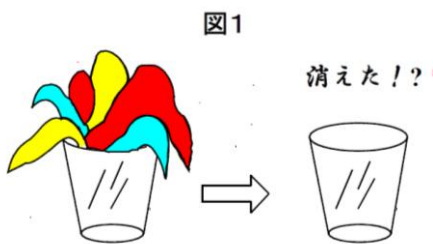
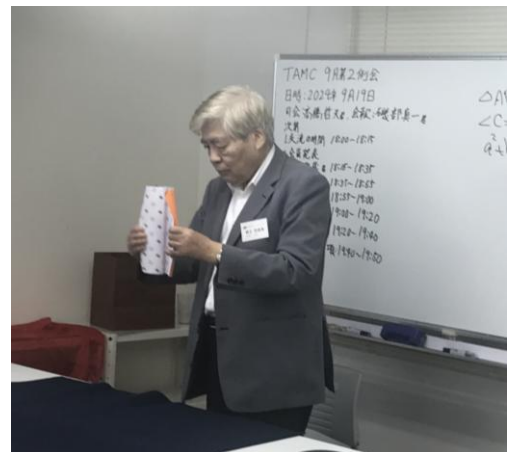
演技: グラスに赤、青、黄色のシルクが入ったグラスを持って登場する。

「よ〜く、見て下さいよ!」と言って、「はい!」とかけ声と同時に、シルクが「あっ!」という間に消えてグラスは、空になってしまいます。(図1)

解説: シルク3枚に結ばれた糸がグラスの孔を抜けて、術者の上着の右の袖から入り、背中を通り左の袖を通り左腕に結ばれております。(図2)

演技としては、いきなり右手と左手をのばせば、シルクは、コップの孔を通りぬけ、右の袖口から、右袖に入ることになり、シルクは、消

えた状態になります。



2. モンゴリアンシルクの披露

演技：懐から筒状のものを取り出します。

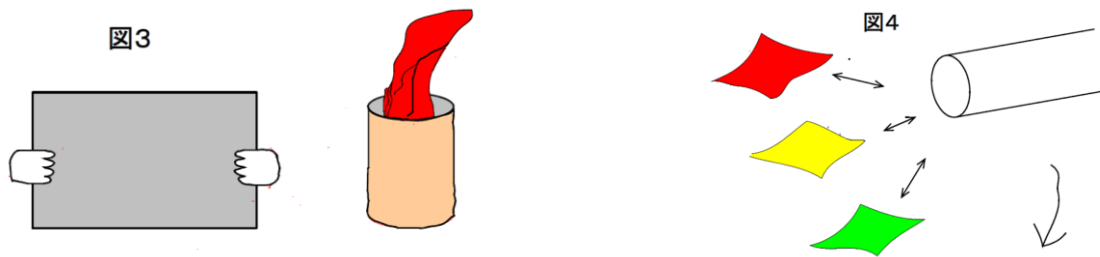
それを広げると何も入っておりません。それを丸めておまじないを掛けると、その筒から赤いシルクが出てきます。

(図 3)

次に黄色いシルク、緑のシルクが出てきます。そこで、この筒を広げて見せると、何も入っておりません。

広げたものを筒状にして、先ほど出したシルクを

1 枚ずつ、筒に入れて行きます。(図 4)



全部入れたら、その筒を振ると反対側から、入れたシルクが出てくるのですが、赤、黄、緑の順で繋がって出てきます。(図 5)これを、左手の中に折りたたむようにして全部パームします。(図 6)

右手をズボンのポケットに入れて魔法の透明な粉を取り出して左手のシルクに振りかけます。

すると、左手にパームしたシルクを取り出すと、1 枚の大きな 3 色模様になって出現します。

解説：このマジックのポイントは、筒状の構造にあります。

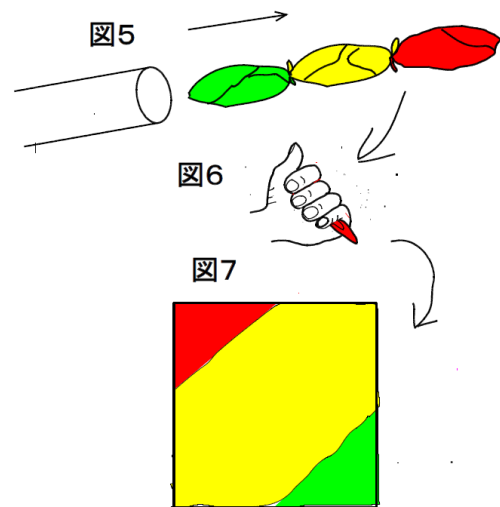
表側の紙の真ん中に筒を貼り付けておきます(図 8)。

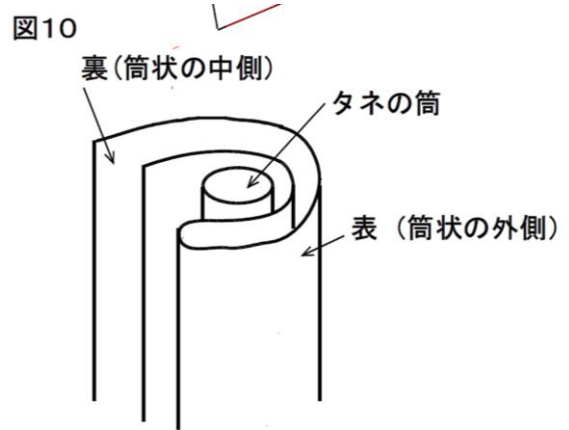
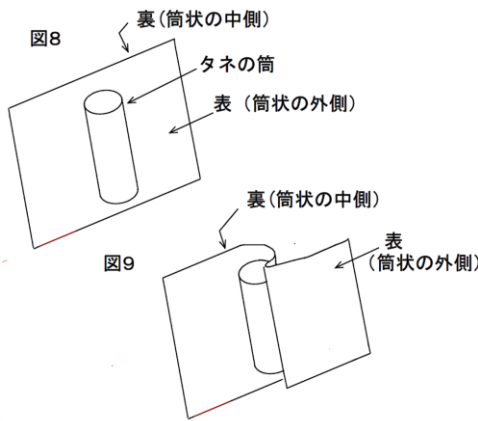
最初に観客に裏面(筒状の中身)を見せて、それを(図 9)に示す様に筒を巻き込みますと、表面を観客に見せる事になります。(図 10)

中に入れる大判のシルクは、斜めに折りたたむと、(図 5)の様になります。

色の境目は、小さな 2 色のシルク(緑/黄、黄/赤)を使ってそれぞれ結んでおくと、3 つのシルクが繋がっているように見えます。

この繋がっているようなシルクを左手に順次パームするときに、右手で、結んだ小さなシルクをずらしながら、パームしていき、最後に右手がズボンのポケットに入った時に、小さなシルクを置いていきます。粉を振りかける動作をした後に大判シルクを広げます。





3. きになるカラーチェンジ

- 演技： ①「白い丸があります。」と言いながら、カードを示します。(図 11-1)
- ②「これにおまじないを掛けると赤くなります」と言いながら、これを両手で拝むようにして縦に二つ折りにして、手前側を開きます。すると赤い丸になります。(図 11-2)
- ③もう一度おまじないを掛けると、白い丸に戻ります。(図 11-1)手前側を閉じて向う側を開きます。
- ④ もう一回おまじないを掛けると、赤くなります。(向こう側を閉じて手前側を開く)
- ⑤ 引っ繰り返しているだけじゃないかと思いますが、もう一回おまじないを掛けると、なんと青くなります。(11-4) (更に手前側を開く)
- ⑥ さて、ここまできると、後ろが気になるという方がいますか？ (裏は黄色になっている)
- ⑦ 何人か正解です。うしろが黄になっています。(図 11-4)(うしろが気になっている)

図11-1

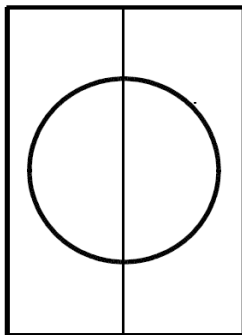


図11-2

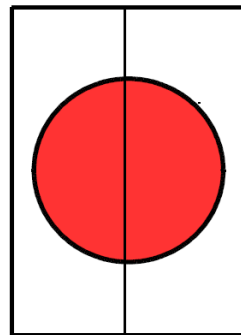


図11-3

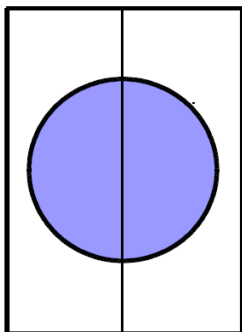
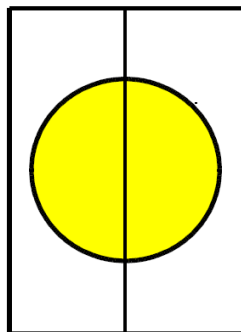


図11-4



4. みなさんの問題

演技：観客には、「みなさんの問題」の表題を見せつけながら、文言のセリフの話をします。

文言は、次の通りです。(図 12-1)

みなさんの問題

- ① 心の中で数字を考えて下さい。
- ② 但し、これから かけ算、割り算、を行いますので簡単な数字が良いでしょう。
- ③ 1 から 9 までとしましょう。
- ④ 心の決めた数字が、後で出てきますのでよく覚えておいて下さい。
- ⑤ いま、心に決めた数字に 1 を足して下さい。
- ⑥ 1 を足した答を 2 倍にして下さい。
- ⑦ では、それに 4 を足して下さい。
- ⑧ その答を半分に割って下さい。
- ⑨ この割った答から最初に覚えた数字を引いて下さい。
- ⑩ いま、みなさんの心の中にある数字が、私が用意した数字と同じであれば大きな拍手をお願いします。
- ⑪ いきます。答は、3 です。
- ⑫ 全員が、3 と思います。(図 12-2)
- ⑬ だってこれは、「みんな さん の問題」だからです。(これがオチです)

図 12-1

表面

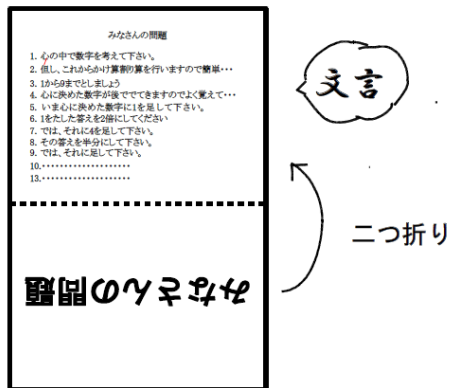
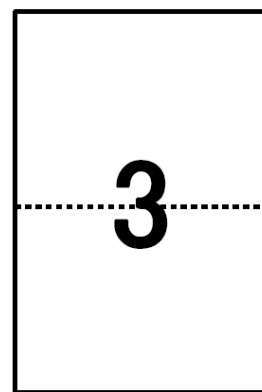


図 12-2

裏面



解説： どんな数字を覚えていただいても 3 になります。

- ・覚えた数字を A とします。
- ・手順として 1 を足します。 $(A+1)$
- ・次に 2 倍にします。 $\dots\dots\dots(A+1) \times 2$
- ・それに 4 を足します。 $\dots\dots\dots(A+1) \times 2 + 4 = 2A+6$
- ・その答を半分にします $\dots\dots\dots(2A+6) / 2$
 - ・覚えた数字 A を引く $\dots\dots\dots(2A+6) / 2 - A$
- ・計算をすると $\dots\dots\dots 2A / 2 + 6 / 2 - A$
 - $= A + 3 - A$
 - $= 3$

覚えた数字 A が消されて 3 が残ります。

だから、みんな3です。「みんな 3 の問題」です。

5. 「トランプ立つタワー(トランプ 立ったわ)」

演技： お客様にトランプの表を広げて見せてカードがバラバラであることを確認して貰い、デッキを裏に返して1枚のカードを選んで貰います。選んだカードをデッキに戻して仕舞います。ボード(写真左)を見せながら、「選んだカードは、この中に隠れています。

今見つけても黙っててくださいね」お呪いを掛けます。

すると、選んだカードが、立ち上がってきます。(写真右)びっくりです！！



以上

◆「クローズアップマジック：輪ゴム、クリップなど」

磯部 真一 君（第2例会）

今回は輪ゴムを中心とした「日用品」を使ったマジックを披露しました。

「解説」を求められましたが、広く知れ渡っているネタばかりという認識だったので準備不足で上手く伝えられなかったのは申し訳ありませんでした。モノが小さく見えにくいこともあって大人数相手の「解説」には不向きだったと改めて反省しています。ネタについては必要な方は個別に申し出ください。

当日の演目名：

1. 「シャーピーのバランス」

輪ゴムを使ってシャーピーが手の上で浮遊するように見せるものです。

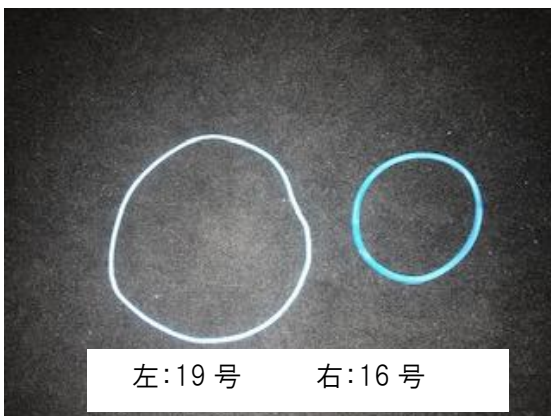
見にくいですが左の写真の様に輪ゴムをかけた後、手を握るとゴムが死角に入りシャーピーが単独で浮いているように見えるというわけです。



2. 「マジックに最適な輪ゴム」

通常マジックに最適な輪ゴムのサイズは「19号」とされていますが、日本で一般的に販売されているサイズは一回り小さい「16号」です。

日本で「19号」の輪ゴムを入手は、ネット通販が簡単です。



3. 「Clipped」

本ネタはおそらく誰でもご存じのネタではないでしょうか？このネタが一般に方にどう見えるのか気になりますが、聞くに聞けないです。

写真のようにセットしたお札を左右に引っ張るだけなので、誰でも成功します。



4. 「リンクング ラバーバンド」

通常では無理な「リンクング ラバーバンド」ですが、今回は 2 種類の方法を紹介しました。

1) 「すでに結合している輪ゴム(売りネタ)」を使う方法。

すでに結合していますから検めができません。演者の技量でごまかしてください。

2) 「ラバーセメントを纏わせた輪ゴム」を使う方法。

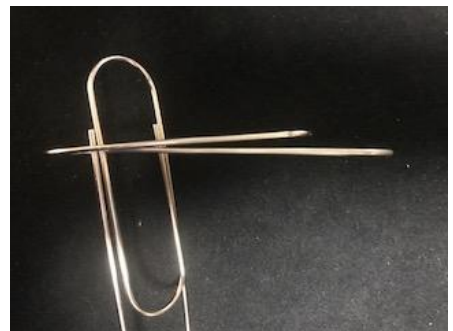
2 本の輪ゴムにラバーセメントを全体に塗り付けて乾かします。その後 2 本をくっつけて指で揉むと結合したように見えます。



5. 「リンクング クリップ」

1 本のクリップを掌に置き、もう 1 本のクリップを打ち付けると結合するというマジックです。

単純にテクニックだけなのですが、手のひらに置くクリップは写真の様に細工を施しておきます。打ち付けると言いながら隙間にクリップを入れて「すくい上げる」感覚です。少々練習が必要ですが隙間を大きめにすると簡単にできます。



6. 「リンクング セーフティーピン」

安全ピンを「リンクングリング」の様に扱うマジックです。2 本のピンを外すとそれぞれ写真のような形になります。写真下のピンを外したまま演技を行い、「結合後は元に戻す。」ですり抜けたように見えるというわけです。外すときも同様に行います。

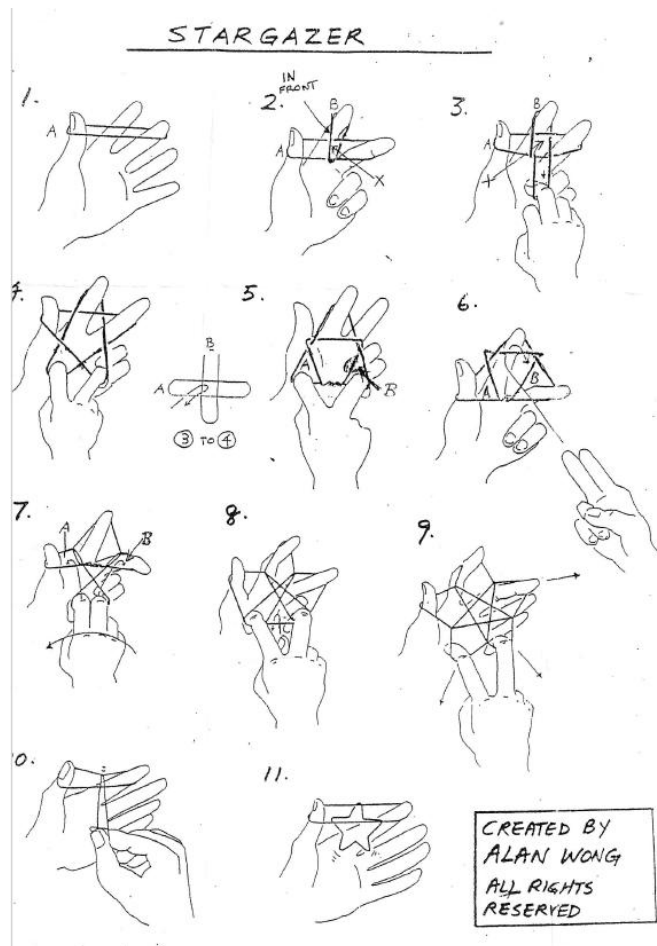


7. 「スターゲイザー」

2本の輪ゴムを「あやとり」の様に行って、「星形」を作ります。その後、「あやとり」を崩しても輪ゴムはそのまま「星形」となっている。というマジックです。輪ゴムマジックではあまりにも有名ですが、習得に適した教材は少ないのではないかと思います。

下記に「手書き」の資料を掲載しましたが、すぐに理解できるかという厳しい面があると思います。

覚えてしまえばさほど難しくありませんが、効率よく覚えるためにはマンツーマンでの指導をお勧めします。



以上

連絡報告事項

◆第1例会 無し

◆第2例会

1. 10/27 秋の発表会後の打ち上げ懇親会について

イベント委員長 守岡 喜一

10/27 発表会後の打ち上げ懇親会について、「会場、会費、等」詳細が報告された。

2. 9/23 発表会リハーサルについて

大会委員長 村上 日出夫

秋の発表会リハーサルの詳細が報告され、発表者および会員の参加が要請された。

○出席者：16 名

○講師：①柏木直也会員、②松岡聡会員

○テーマ①「ギルブレスの原理を用いたセルフワーキングカードマジック」

テーマ②「マジック ア・ラ・カルト (Magic a la carte)」

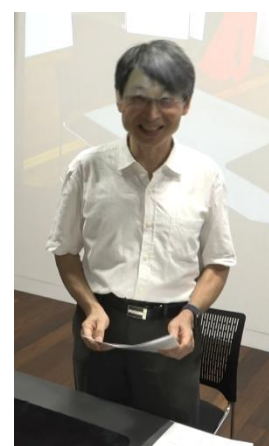
(数理マジック 5 題とゼムピン活用の不思議マジック)

○講習内容

1. ギルブレスの原理 (Gilbreath Principle)

柏木 直也 講師

「ギルブレス (Gilbreath Principle) の原理を用いたセルフワーキングカードマジック」



●前半 「ギルブレス第一原理」 <https://youtu.be/de9hkShx12s>

00:00:00 概要「ギルブレス第一原理 (Gilbreath Principle)」

00:02:55 演技紹介 “\$26,000 Bet” by Lennart Green

00:08:10 “\$26,000 Bet”及び”Magnetic Colors” 「ギルブレスの第一原理」の解説

00:11:55 少ない枚数を使って、ギルブレスの第一原理の理解を深める

00:20:08 フルデッキ 52 枚で「ギルブレス第一原理」を実践

00:23:41 演技”一組で行う Influential Paris” by Gene Finnel

「セルフワーキングマジック事典」松山光信著

00:27:55 解説”一組で行う Influential Paris”

00:29:22 原理の解説”一組で行う Influential Paris”

●後半 「ギルブレス第二原理」 <https://youtu.be/vWhGrmhjFs>

00:00:00 概要「ギルブレス第二原理 (Gilbreath Principle)」

00:00:25 演技”Mocking Bird” (『Video Mind Vol .1』 by Max Maven)

00:05:24 解説①「Mocking Bird」 by Max Maven の前に「ギルブレスの第二原理」を知る！

00:07:50 解説「♠♣♥♦4 つのスートを使って、第二原理を学ぶ

00:10:37 解説「指を使って第二原理を理解する方法」 by Lennart Green

00:11:46 解説②”Mocking Bird”の解説：事前のセット方法

- 00:20:02 演技“Paint Poker”（『Expert Card Magic Lecture Notes Vol.2』 by Sal Piacente）
 00:24:20 “Paint Poker”
 00:26:02 セルフワーキングマジックについて

2. マジック ア・ラ・カルト (Magic a la carte)

松岡 聡 講師

「明日から演じられる簡単&不思議なマジック」
 （数理マジック5題とゼムピン活用の不思議マジック）

<https://youtu.be/ma0KPMKXbtw>

- 00:00:00 演技概要
 00:00:26 演技：ミラクル8（エイト）
 00:05:07 演技：観客の本当の答え当て
 00:09:52 演技：幸せの左手薬指
 00:13:21 演技：数字の予言 ～収束する数字～
 00:18:19 演技：二人の観客の数字の奇跡の一致
 00:21:22 演技：ガードナーの運勢占い
 00:23:47 解説概要
 00:24:03 解説：ミラクル8（エイト）
 00:27:54 解説：観客の本当の答え当て
 00:31:32 解説：幸せの左手薬指
 00:34:42 解説：数字の予言 ～収束する数字～
 00:35:47 解説：二人の観客の数字の奇跡の一致
 00:39:13 解説：ガードナーの運勢占い
 00:40:37 全体まとめ
 00:41:15 完



松岡講師は詳細な解説書を出席者に配布されましたので、希望者は松岡講師に直接依頼してください。

秋の発表会リハーサル 2024年9月23日(月)10:00～17:00 杉並区勤労福祉会館

9月23日に秋の発表会リハーサルが、杉並区勤労福祉会館にて行われました。
 出演者の演目内容、それに伴う証明、音楽、各係の動線、などの確認が念入りに行われました。

TAMC 会報
 2024年10月号
 記録・編集 磯部真一